

令和3年度 学校評価 集計

⑤を5点、4を4点、3を3点、2を2点、1を1点として、平均を算出し、四捨五入して点数を表示した。

(1) 教育理念・学校教育目標

4.3

①	学校の理念、目的、望ましい学生像が定められているか。	4.5
②	学校における職業教育の目標が明確か。	4.5
③	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4.2
④	学校の理念、目的、学生像、将来構想等が学生・保護者に周知されているか。	4.0

課題等

適切である。

改善方策等

④について、年度初めに学生にはHPで、保護者にはHPや文書で周知。
適切である。

(2) 学校運営

3.9

①	経営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4.0
②	運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか。	4.0
③	人事、給与等に関する規定等は整備されているか。	3.8
④	教務・事務等の分掌組織、意志決定システムが整備されているか。	3.8
⑤	教育活動に関する情報公開が適切にされているか。	4.3
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.7
⑦	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか。	3.5
⑧	指導力を備えた教員(本務・兼務)の確保に努めているか。	3.8

課題等

⑧給与面での課題があり、指導力を備えた教員の確保は難しい。
教員数を増やしてより良い教育を目指す。
ペーパーレス化
各学年ごとの理趣項目・内容に加え、各組織の役割分担の把握が不十分な場面がある。細々としたことは、そのときになって初めて疑問を持つので、その都度どなたかに迷惑を掛けている。
奨学金関係の予定が教員がよく分からない。
意思決定システムはあるが、機能しないことが多々ある。
WI-FIの環境が整備させると良い。

改善方策等

⑧在学中に希望調査を行い、卒業後学校助手として育成する。
教員をやりたい人はたくさんいると思うので、給与の面を見直せたら増えると思う。
校内メールの活用
教員の奨学金の担当者を作る。
意思決定システムを再度確認する。
運営に関する内容は分からないことが多い。
環境設備の計画を立てる。

(3)教育活動・教育環境

4.0

①	学校教育目標・指導要領・学則等に基づいた教育課程が編成されているか。	4.2
②	学科の到達レベルや学習時間の確保は明確か。	4.3
③	実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	4.1
④	理・美容部会が機能し、教育活動の改善が図られているか。	3.9
⑤	授業評価の実施・評価体制が図られているか。	4.5
⑥	成績評価、単位認定、進級・卒業の基準は明確か。	4.3
⑦	資格取得に関するカリキュラム、指導体制は整っているか。	4.0
⑧	教員が先端的知識・技能等を習得するための研修等の取組が行われているか。	3.4
⑨	学校行事等、適切に立案され実施されているか。	4.1
⑩	施設・設備は必要性に対応できるよう整備されているか。	4.0
⑪	防災体制は整備されているか。	4.0
⑫	生徒指導の重点(挨拶・マナー・後始末)が適切に実施されている。	3.9

課題等

校外開催の研修等の参加機会が少ない。
 ⑧教員研修の予算を考えるべき。
 もっと研修があると視野が広がると思う。
 研修への参加(教育センター)
 指導に関して、担任に対する負担はまだ大きい。
 資格取得に関する指導がクラスによって違う。
 ⑧コロナのため、R3年度は勉強も出来なかった。
 ⑫マスクをして表情が分からないので、声に出してもらおうよう指導していきたい。
 月1回の部会を継続していきたい。
 施設設備が古くなっていたり、破損していたりするので、見直しが必要。
 ほぼ適切である。

改善方策等

オンライン開催が増えているので、積極的に取り入れたい。研修以外でもイベント等でもオンラインなら視聴出来るのではないかな。
 ⑫について、老化等であっても挨拶が返ってこないときがある。こちらからも継続して声がけしていく。
 ⑧予算案に研修費を組み込む努力が必要。
 無料で参加出来るものにはできるだけ参加したい。
 計画的に運営・文化なども資格が取れると良いのでは？
 副担任をもっと授業に組み込みたい。
 管理職がしっかり監督する。
 クラスの差がないと良い。

(4) 学生支援

3.7

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4.2
②	学生相談に関する体制は整備されているか。	3.9
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4.0
④	学生の生活環境への支援は行われているか。	3.5
⑤	保護者と適切に連携しているか。	3.8
⑥	卒業生への支援体制はあるか。	3.3
⑦	高校等との連携による職業教育等の取組状況はどうか。	3.5

課題等

③学生支援機構等、公的機関が今年度は厚く支援してくれたが、学校独自のものがあると良い。県内だけでも卒業生がいろいろな店舗で頑張っているの、在校生が知れる機会があると嬉しい。生活環境の支援
保護者への連絡が行き届かない場合がある。
保護者としては、事件時孤島以外での連絡を求めていると思われる。保護者との適切な連携の程度が分からない。学生へのアンケートにも、保護者との連絡等も質問があったが、親は学校から何も連絡がないことが理想だと思うので、この質問に違和感がある。
学生支援の告知が急だったり、事務局でない分からないものが多い。
⑥は難しい。

改善方策等

⑦について、職場体験等出来る範囲で受け入れをしているので、継続していくと良いと思う。学校からの資産からが難しければ、クレジット会社と提携し、本校独自の奨学金制度として謳うことが出来る。
コロナ禍なので今は厳しいが、サロンに行く機会やサロンとのつながりを持っていくと進路、就職がもっと近く考えられる。
保護者へのメールの一斉送信等が出来るようにする。
卒業生対応の窓口があると良い。

(5) 広報・募集活動

4.1

①	広報・募集活動は重点化・効率化が図られ適正に実施されているか。	4.2
②	広報・募集活動を支援する職員体制ができているか。	4.1
③	広報・募集活動では、教育成果が適正に伝えられているか。	4.1

課題等

どんな緒卒業生がいるか知れると、入学生を増やすことにつながると思う。
学生確保の維持
ガイダンスには参加するが、理美容に興味がない参加者への対大生に苦慮している。
広報部の授業への参加。
若い人材が増え、、SNS等の発信も増え良いと思う。
適切である。

改善方策等

今までのようにコツコツと信頼を高める。
校内ガイダンスであればなおさらただ時間を無駄にさせるわけにはいかないの何か興味を引く方法や彼らに響く事案等を模索している。
現在の授業を経験しないで正しく伝えられないと思う。
適切である。

(6) 法令等の遵守

4.1

①	法令・専修学校設置基準・就業規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.3
②	個人情報の保護対策がとられているか。	4.1
③	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか。	4.0
④	自己評価結果を公開しているか。	4.2

課題等

個人情報の保護

個人情報の許可を取る時期を早める。

自己評価は行っているが、改善への行動が具体的に見えない。

適切である。

改善方策等

パスワードを設定し、PCにロックを掛ける。

入学前の誓約書や卒業証明書と一緒に親の自筆を求めるべきだと思う。

全員で改善まで詰める。

適切である。

(7) 社会・地域貢献

3.7

①	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を実施しているか。	3.8
②	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.7

課題等

学生会のゴミ拾いくらいしかない。

施設を有効に使えているとは思えない。

2F,10Fの活用

今まで通りやれることを続けていく。

適切である。

改善方策等

コロナ禍で活動することが難しいが、身近で出来る校外清掃の継続。

施設を外部に開放する。

2F,10Fをイベント等に活用してもらう機会を作る。

適切である。

(8) その他建設的な提案があれば

--

令和4年度学校関係者評価委員会報告書

1 日 時 令和4年6月27日(月) 13時30分～14時45分

2 場 所 SENDAI中央理容美容専門学校 3階会議室

3 出席者 学校関係者評価委員
兼重 康浩、矢子 浩次郎、伊藤 貴章
本校関係者
横橋 健、品川 真里子、櫻井 江利子

4 欠席者 柳澤 邦充、安藤 裕紀

5 審議内容

① 令和4年度学校経営方針について

- ・毎年学生にアンケート調査を実施している。学校生活満足度調査では年々満足度が上がっており9割以上の学生が満足していると回答している。
学校経営方針に沿って学生一人一人を大切にし、教育を行ってきた結果ではないか。

② 令和3年度学校評価（自己評価）について

(1)教育理念・学校教育目標

学校の理念、目的など学生・保護者に周知されていないのではという課題を改善する方法として、ホームページ、文書の他に入学式等で直接伝えていきたい。

(3)教育活動・教育環境

コロナ禍で研修等学ぶ機会が減少しているが、今後は費用を確保し、計画的に研修参加をしていきたい。

(6)法令等の遵守

法令等を遵守し、学生を第一に考え、正しいことを正しくやっていきたい。

(7)社会・地域貢献

学生による校外清掃が地域の方々に認知されてきていると感じている。継続して活動していきたい。

③ 学校評価(自己評価)に対して検討・提言

- ・研修への参加が難しい時期でもあるが、最新の知識を習得し、学生に伝授してほしい。

④ その他

- ・教職員一丸となり、しっかりとした指導を行った結果が、学生の満足につながっていると感じる。
- ・オーナーとしては即戦力になる人材(接客、コミュニケーション、技術)を求めている。国家試験勉強等学ぶことがたくさんあるが、シャンプーなどしっかり手が動かすことできる技術も身につけてほしい。